

# 会議議事録

会議名	令和6年度 宇和島市食育推進会議
会議日時	令和7年2月19日(水) 18時30分～19時35分
会議場所	宇和島市役所 地下会議室
出席者	<p>委員(敬称略)</p> <p>竹田一彦、中尾美鈴、岡本幸恵、三瀬正廣、谷口静子、井関恭子、三好綾、蝶野一徳、若宮里美、影山康彦</p> <p>事務局</p> <p>横山保健福祉部長、保険健康課</p>
協議事項	<p>1. 開会挨拶 横山保健福祉部長</p> <p>2. 委員紹介 各委員より自己紹介</p> <p>3. 協議事項</p> <p>①宇和島市食育プラン〔第4次〕(案)について</p> <p>第1章 計画策定の基本事項</p> <p>第2章 3次計画の指標の評価</p> <p>第3章 食をめぐる現状と問題</p> <p>第4章 目指す食育推進の方向</p> <p>第5章 食育推進の施策展開</p> <p>1 それぞれの役割に応じた食育の推進</p> <p>重点目標1 健康を意識した食生活を送る</p> <p>重点目標2 生きる力となる食を大切にする心を持つ</p> <p>重点目標3 食文化を大切に継承する</p> <p>2 ライフステージに応じた食育</p> <p>3 4次計画からの取組の強化について</p> <p>第6章 4次計画の評価指標の設定</p> <p>第7章 計画の推進に向けて</p> <p>～質疑応答・意見交換～</p> <p>進行：事前にいただいていた意見書の内容について、食品を購入する時食品表示を見る人の割合、食育に関心を持つ人の割合、食事作りに興味のある人の割合、朝食を家族と一緒に食べる共食の割合等が悪くなっていることが気になる、どうやったら割合を増やすことができるのか、住民の意識を高めることができるのかという意見があった。このことについて、何か意見はありませんか？</p> <p>事務局：23ページにあるこども家庭課の地場産物食育推進事業という取組、希望した園が手あげ式で実施しているみかんや米、鯛等の出前講座がある。母子保健事業の施策を考える会議で保護者から出た意見で、この講座に参加して子どもも保護者も食育について学ぶことができた。このような講座を広めてほしいという声があった。今後、保育園や小学校の出前講座により、保護者を含めた若い世代への働きかけを広く行えるよう、こども家庭課と両輪ですすめていけたらと考えている。</p> <p>進行：第5章 食育推進の施策展開について、特にご意見をいただきたいということで、重点目標1 健康増進について何かご意見やご質問はありませんか？</p> <p>委員：夕食後の間食、おやつが低年齢から始まっているのが気になる。必要な栄養素を5回に分けてではなく、3回のご飯とは別におやつを与えるというイメージがついていて、ご飯ではないものを食べている。使う言葉や説明を保護者にしていく取組があってもいいのではないかと考える。</p> <p>委員：どの年代も野菜のとり方は少ない。野菜嫌いなのだけでなく価格が高くて食べられないという報告もあり、考えながら取り組む必要がある。地産地消に関して、郷土</p>

協議事項

料理の認知度は高いが普段作る機会が少ないとあったが、ハレの日に使われるようなものを日常に取り入れるのは難しい。普段食べられるような郷土料理も取り入れる必要もあると考える。

委員：夕食後の間食をどのようにとらえるのか、夕食後すぐにデザートとして果物を食べるというのではなく、何かと何かの間に食べる小腹を満たすものを指すのか、教えていただきたい。また、普段食べる日常の郷土料理のとらえ方は？

委員：宇和島市は魚のイメージが強いが、例えばぬた、また野菜を使った煮物等も多いのではないかと。あと、鯛を使ったさつまやじゃこてんを使った料理も多いのではないかと。大根葉の間引き菜等のなっばに薄揚げの代わりにじゃこてんを使ったものも普段の郷土料理だと思う。

事務局：夕食後の間食で1番多いのが清涼飲料水、ジュースをお風呂上がりに飲む、続いてアイスクリーム、次にお菓子、果物、乳酸菌飲料といった、夕食後に食べたり飲んだりするものがアンケートでは挙がっている。

委員：人によってまちまちではあると思うが、寝る時間はいつのなのか。

事務局：3歳児でも9時から10時が多いが、12時過ぎまで起きている子もいる。

委員：夕食が6時で就寝が12時として、当然お腹も空く。最近の薬で空腹時に飲むものもあるが、5食も食べていると空腹時もなくなってしまうのではないかと。

委員：野菜を1日350g目標にとあるが、元々300gも食べていないのに、今高い野菜を実際食べられるのか？重点目標に挙げているが、意識付けは難しいのではないかと。

事務局：県の健康調査でも野菜の摂取量が少し下がっていた。市としては350gすぐには難しいので、今より1皿プラスして食べましょうというところで取り組んで行きたい。

委員：1日350gの野菜ジュースもあるが、宇和島の野菜ジュースを作るような取組はできないものか。

進行：重点目標2 人間形成について何かご意見やご質問はありませんか？

委員：共食について、朝食に限定しているが、経済状況や家庭の状況によっていろいろあるので、家庭での取組は家族と一緒に食べる機会を増やすという意味では、1日の中で1回でも一緒に食べる時間があるといった調査も考えてみてはどうか。

委員：共食について保育園の中でも伝えるべきだと思うのだが、健康カードで朝食を食べてきたとチェックしてきているが、聞いてみると、一人でとかお兄ちゃんとか、家族と一緒に食べたという声は少ない。食事中的スマホやテレビについても、保護者の方もスマホでおもりをさせているという現状がある。保育園としても良い方法はないかと考えている。食育だよりに載せたり、保育参観を通してお話しする機会を設けてはいるが、今の世代の保護者はスマホを利用されている家庭が多いと感じている。保育所・認定保育園でもこれからも取組を推進していきたいと考えている。

委員：家族が共稼ぎ等の家庭に、時間で支援するファミサポに行っているが、そういった家庭にはあてはまらない理想的なことばかりなので、現実をみつめて正直なところを書いてもらった方がいいと思う。

進行：重点目標3 地域活性化について何かご意見やご質問はありませんか？

委員：地産地消について、郷土料理を子どもたちは知っているが、大人は取り入れていないと聞いて、子どもたちは何を持って郷土料理と知っているのか、どういう風に認識しているのかというのが気になった。郷土の味を伝承するという意味で、自分もYouTubeを見てさつま等を作ってみたが、見やすいしありがたい。

委員：JA女性部でも、鯛めし、さつま、鯛そうめん、ふくめん、まるずし等、いろいろ自分たちで作っている。せっかくなので、みんなに広められるように機会を設けたい。

委員：自分は伊予三島の出身で実家は農林業をしている。伊予三島での郷土料理として、唯一思いつくのが、お雑煮にあんこ餅を入れること。宇和島の郷土料理は、イベント等で食べたことはある。宇和島の郷土料理は少しでも広める形は続けてほしい。

委員：鯛めしやさつま等は、外食すれば普通に食べられる。作り方を聞いて、家で作ったこともある。個人的にはYouTubeはあまり好きではないが、子どもさんたちには利用しやすい。スマホは良い面もあるが、目に良くないという点もある。

協議事項	<p>進行：全体を通してのご意見をいただきたい。</p> <p>委員：国も県も理想的な目標を掲げて、実際はどうか難しい実情がある。社会情勢の変化や環境の変化で、家庭についても何を目標にしていくか、悩ましいところではある。昔はこうだったが続いているが、実情に応じた目標を、その時その時に見直しが必要だと考える。</p> <p>進行：核家族も増えたりと一緒に食べないことから、食事の時の会話がなくなることで引きこもりも増えてきているのではないかと考える。 ご意見を参考に食育計画を策定し来年度以降も関係機関と連携をとりながら、食育を推進していただきたい。</p> <p>事務局：4次計画は、令和12年度までの6年間の計画で、現場に即した見直しも含めて、いろんな関係課が関わっており、多くの関係者と協働しながら食育を推進できたと思っている。</p> <p>4. その他 来年度は委員の改選の時期となっている。食育推進会議は、年度末に開催し活動報告をしてきたが、来年度は年度始めの開催を検討したい。</p> <p>5. 閉会</p>
------	--